

平成26年8月16日 芸術文化創造センター第1回市民ワーキング意見について

創造スタッフ室について

[1班]

ロッカーについて

ロッカーは有料にする(無期限使用などを制限する)

ロッカーがあれば理想的だが固定化は困る。パソコンやモバイルが小型化しているので持ち込みを基本に

ロッカーは無い方が良い

ロッカーないと困る(ホールのレセプションの備品)

ロッカーは申請制度(1年毎)

団体のみロッカー

レセプション活動のための備品(丸椅子、トランシーバー、ペンライト等)を収めるロッカーは必要

責任を持たせるために半年に一度ロッカーは更新する。有料である

ロッカーは横長に

利用資格を設ける(登録団体・使用頻度)

ロッカー設置の有無

ロッカー使い方決める(半年ごと)

管理運営・使われ方

創造スタッフ室運営委員会の設置

利用団体で運営管理をする(ロッカー他)

このスタッフ室の目的についての論議が足りない

事業企画室の方がわかりやすい

実行委員会資料をここで皆で作る

中が見えるガラスなどが良い(入りやすくなる)

利用団体では区分けが必要である

利用団体の制限

登録制にしないと備品のセキュリティが保てないのではないか

個人的な作業ではなく、公益性のある活動団体が使った方が良い

ホール利用者または登録団体のみ利用可とする

20人程度の会議が出来るように

予約は基本的に必要とする、貸切制も必要

テーブル毎に時間で予約

月に定例会で企画会議とか評価会議とか。定例会と必要な会議

フリーテーブルがいくつかあったほうがよい。

部屋の周囲にも机を配置(いくつか)(ハンドバッグ置き、PC置き)

使用するには 名以上にて、の規制

個人でも必要に応じて使えるようにする。個人登録の方法を工夫する

スタッフ室は文化の創造を目的にするならば自由に出入りできることを基本とする(それを前提にルールを)

備品

コピー機はPDF化できるもの

備品(印刷機等)は周辺に配置

使用が多い人が優先的に使えた方がよい

ホワイトボードは印刷機能をもつもの

印刷機はガタガタうるさいので会議スペースとは離しておいたほうがよい

コピー機は複合機で

パーテーションは必要

LANシステムが創造スタッフ室には必要

コーヒーマーカー、給湯器

パウチ、Wi-Fi、PCはMacも欲しい

iMac27を設置(中古で可)

大ホール、小ホール他のモニターがついていることが嬉しい

モニタープロジェクター有り

薄型テレビ(HDMI端子)は中古で可

可動テーブルで必要に応じて大きさを変える

机寸法0.6m x 1.8m、台数8 ~ 12基

ハードについて

会議室は不要
 会議室の間仕切りをとる
 会議室は無し。作業室と印刷室がひとつ
 ある程度の防音をする
 室内が見えなくなるようなブラインド
 スライドドアがよい

【2班】

使われ方・管理運営

交流の場
 使い込んで決めていく
 既存団体のたまり場になってしまっはいかがか
 新たな創造が生まれてこない、若い人が入れない
 企画運営委員会のミーティングルーム
 市民が入った実行委員会が利用する
 メリット:ホールスタッフがそばにいる、聞ける
 開館時間、閉館時間
 会議は無理？

中間支援組織(仮)のあり方・利用

コーディネーター、文化コンシェルジュの役割(繋ぐ人)個人もあり
 (創造スタッフ室に)専従しているスタッフが必要か？
 団体間のコーディネーター的存在
 市民のノウハウを持った人を紹介する
 (支援を行う)人材が必要
 市民団体を支援する組織、中間組織
 市民活動の中間支援スタッフの事務局機能の施設
 創造スタッフ室、本日の資料だと単なる作業室の内容だ。文化を推進するスタッフの部屋と思っていた。「活文化レポーターの拠点

ハード面

仕切りは(全部屋に)無い方が車いすが使いやすい
 車椅子の利用者の方には狭い。部屋割り、間仕切りは必要無し。

備品

机は折りたたみ式、キャスター付きにタイプを。本日会議室のタイプは古い！
 ポスター印刷、高度な印刷
 プログラム自作
 サボセンで印刷
 事務室との内線連絡可
 発信の場、ユーストリーム可
 ホールの音響回線、編集、アーカイブ
 情報発信Web